

2022年度 国体少年最終予選

ポイント一覧表(同一大会ではS・Dのポイントが多い方を加算する)

JTA派遣選手		国体予選(一次)	インターハイ県予選	中国高校	全中県予選 (単複どちらかのみ出場可)	全中中国 (単複どちらかのみ出場可)	中国ジュニアU18	中国ジュニアU16	中国ジュニアU14
200	S1位	最終予選進出確定 (リーグ戦:Aリーグ確定)	50 最終予選進出確定 (リーグ確定なし)	90	30	70	100	90	80
	S2位	最終予選進出確定 (リーグ戦:Bリーグ確定)	40	80	20	60	90	80	70
	S3位	40	30	70	×	50	80	70	×
	S4位	30	20	60	×	40	70	60	×
	D1位	×	25	45	25	60	50	45	40
	D2位	×	×	40	×	40	45	40	×

出場可能選手: 国体一次予選1位、2位、インターハイ県予選1位およびポイント獲得上位3人が最終予選に出場可能である(合計6名)。
ただし、最終予選を辞退したり、当日キャンセルした選手がいた場合は、当日サインインしているウェイトリング順位の高い選手から繰り上げて出場できる。

試合(最終予選)の流れ 全9試合(男女18試合)、1日開催。

①リーグ戦: 3人ずつのリーグ戦を行い各リーグ内の順位を決める

Aリーグ	①国体一次予選1位
	②ポイント順位2位
	③ポイント順位3位

Bリーグ	①国体一次予選2位
	②ポイント順位1位
	③ポイント順位4位

②代表選手決定試合: Aリーグ1位vsBリーグ1位(勝者は代表決定)、Aリーグ2位vsBリーグ2位を行う。
1位同士対戦の敗者と2位同士対戦の勝者が未対戦の場合は2位決定戦を行う(勝者が代表決定)。

注意事項: ポイントレースでは、同一大会ではシングルス、ダブルスのポイントの多い方のみを加算する。
国体一次予選の1位・2位となった選手はポイントレースの獲得ポイントに関わらずリーグ戦に進出できる。
なお、国体一次予選の1位はAリーグ①、2位はBリーグ①に配置される。
インターハイ県予選1位となった選手は最終予選に出場確定だが、ポイントレースの対象となる。

参考事項: 獲得ポイントが同点となった場合は、国体一次予選の戦績を考慮する。
それでも差がつかない場合は、以下のようにする。
ポイント1位から4位での同点については(例: 3位と4位が同点)、最終予選当日、抽選によりその順位を決定する。
ポイント4位での同点については、8/15以前に決定戦を行う。(別途通知、日程及び場所は調整)
最終予選当日、出場する選手が6名に満たない場合は、下記の方法で行う。
当日サインインしているウェイトリング順位の高い選手(ポイント獲得済)から繰り上げて出場可能とする。
それでも6名揃わず、5~3名の場合、全員で1つのリーグでリーグ戦を行い、上位2選手が国体代表選手に決定。
2~1名の場合、その選手が国体代表選手に決定。